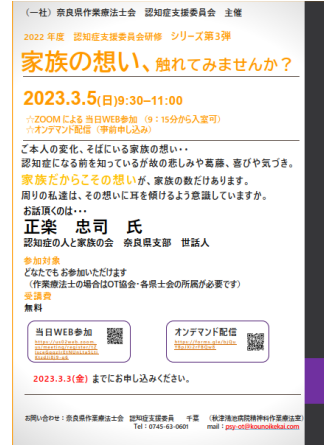


認知症に関する活動計画（概要）

奈良県作業療法士会では、2022年度は県内の作業療法士に事前アンケートを取り、臨床で認知症支援に携わる際に困ることや学びたいことを聴取。その結果、行動・心理症状への対応に多くの関心があったため、『行動・心理症状』をテーマに、基礎知識編・臨床編に分けて研修を実施。また、2021年度に引き続き、ご本人・ご家族の声を聴く当事者研修も開催した。また、医療分野で働く作業療法士や若手の療法士には、地域での認知症支援のイメージを持ってもらうため当士会地域包括ケアシステム委員会との合同研修を企画した。



2023年度も研修の開催と、次年度に向けて県内作業療法士の認知症支援のスキルアップ・継続的に学べる体制作りを検討しています。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

世界アルツハイマーデー記念講演会として12月2日に開催される認知症フォーラム2023（認知症の人と家族の会 奈良支部主催）において、参加者と共に脳トレ・歌・体操などの作業を通じた認知症予防活動を実施し、作業療法の啓発を行う予定となっている。

認知症の人と家族の会との連携事業

毎年、年2回行われる『本人の集い』のイベントの一つである『若年の集い』に協力参加し、ご家族が集われている間に、ご本人や世話人さんと楽しい時間を過ごすべく、参加者の世代や特技を取り入れたクイズや運動を実施。

10月開催の日帰り交流・研修会でも同様の協力参加を予定。



COVID-19の影響・対応など

徐々に地域での認知症予防事業・啓発事業が再開されてきており、要望に合わせて講師の派遣をしている。